

平成29年度 産総研東北センター 一般公開 サイエンス・トーク

# 『光る蟲（むし）の世界』

ホタルや夜光虫といった光る蟲は、

私たちにどんな贈り物をしてくれるのだろうか？

**日時** 平成29年 7月 29日（土） 14時～15時

**場所** 産総研東北センター（仙台市宮城野区苦竹4-2-1）

**対象** 高校生以上

参加費無料・定員30名（定員に達し次第メ切）

※主に高校生を対象とした内容を予定していますが、大学生や大人の方なども参加可能です。

第一線で活躍する研究者と、  
科学について、語り合ってみませんか？

**講師**：近江谷 克裕 産総研バイオメディカル研究部門長

**主催**：国立研究開発法人 産業技術総合研究所 東北センター

**後援**：宮城県教育委員会 仙台市教育委員会

■お問い合わせ先：

国立研究開発法人  
産業技術総合研究所 東北センター 産学官連携推進室

TEL：022-237-5218

E-mail：tohoku-koho-ml@aist.go.jp

詳細情報や申込方法は  
裏面をご覧ください。



# 『光る蟲（むし）の世界』

**日時** 平成29年 7月 29日（土） 14時～15時

**場所** 産総研東北センター（仙台市宮城野区苦竹4-2-1）

**対象** 高校生以上 **参加費無料・定員30名（定員に達し次第メ切）**

※主に高校生を対象とした内容を予定していますが、大学生や大人の方なども参加可能です。

主催：国立研究開発法人 産業技術総合研究所 東北センター 後援：宮城県教育委員会 仙台市教育委員会

ホタルや夜光虫など、日本には無数の光る生物がいます。

この「光」を生物発光と言い、生物発光はルシフェリン・ルシフェラーゼ反応と呼ばれる生体反応です。生物発光は赤色から青色の光を放ち、その発光するパターンも多様です。この多彩で多様な光は、生き物の不思議さ、妙を伝えるだけでなく、我々に多くの恵みを与えてくれています。

本セミナーでは、光る生物の贈り物の正体と、この贈り物がもたらすイノベーションについて、第一線で活躍する研究者が、わかりやすくご紹介します。



**講師：近江谷 克裕** Yoshihiro Ohmiya

産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門長

1992年、ノーベル賞受賞の下村脩博士に出会い、生物発光の本格的な研究者を目指す。ホタル採集から、発光を利用したがんのイメージングまで、基礎・応用研究を展開する。イタリアや米国だけにとどまらず、ブラジルやインド、チベットと世界中を渡り歩く「旅する研究者」でもある。

## 詳細・応募方法

ホームページから応募する場合



<http://www.aist.go.jp/tohoku/ja/sciencetalk2017/>

上記URLのメールフォームよりお申込みください。

メール、FAXにて応募する場合

メール：[tohoku-koho-ml@aist.go.jp](mailto:tohoku-koho-ml@aist.go.jp)

FAX：022-231-1263

参加される方の以下情報を記載の上、ご連絡ください。

1. 氏名（ふりがな）
2. 学年（年齢）
3. 連絡先（電話番号またはメールアドレス）



■お問い合わせ先：

国立研究開発法人  
産業技術総合研究所 東北センター 産学官連携推進室

TEL：022-237-5218

E-mail：[tohoku-koho-ml@aist.go.jp](mailto:tohoku-koho-ml@aist.go.jp)

